

# 幼稚園の 子どもたち



かぞくで ひまかじまに きました。うみに はいって いるか  
タッチをしました。ちかくに きたときは すこし こわかったけれ  
ど、 いるかの せなかは ナスみたいで つるつるしてました。

▲うちだ けいさん (みらいの風こども園 年中)

※図画作品の年齢は制作当時のものです。

●年間テーマ「親学ノススメ」 ●今号テーマ「大切な親子のコミュニケーション」



## 子どもとともに 親として成長するために

名古屋市教育委員会 生涯学習課

子どもは、家庭や幼稚園、地域の中で様々な感動体験を重ねています。楽しいことやうれしいこと、悲しいことがあると、親に聞いてほしくてたまりません。

ある子が、園庭でドッジボールをしています。「やったあ当たったぞ」と、これまでうまくできなかったことができるようになった気持ちを親に聞いてほしい、一緒に喜んでほしいと思っていることでしょう。

しかし、時間が経つとその時の気持ちや様子をうまく伝えることができなくなってしまうことがあります。

その日のうちに子どもとじっくり話をする時間を設けられるとよいのですが、なかなか難しいものです。例えば、お風呂に入っているときや、ご飯を食べているときはチャンスかもしれません。また、「食事をつくりながら…」 「片づけをしながら…」 など何かをしながら子どもの話を聞くこともできるかもしれません。子どもが園での様子やその時の気持ちを話すことができるように、ぜひ、一日の生活を振り

返りながら、親子のコミュニケーションを深めてみてください。

教育委員会では、子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさを学ぼうというものを、「親学」と名付け、展開しています。子育てに完璧なマニュアルなどありません。どの親も迷ったり悩んだりしながらその子にあった子育てを、時には喜びや涙の中で感動を共有し、学んでいきます。子どもとともに学び合い、自らも一人の人間として成長していくことができれば、すばらしい親子関係を築くことができるのではないのでしょうか。



e-netto+na-goya 検索

<http://www.manabu.city.nagoya.jp/>

「親学」に関しては、  
「e-netto+na-goya」  
ホームページを  
ご覧ください。



### 家庭の日 図画作品



なつやすみに おじいちゃんへ あそびにいって はなびを  
みたよ。おおきくて とてもきれいだっただよ。また、らいねんも  
かぞくみんなで はなびをみたいと おもいました。

▲こうやま みずきさん (内田橋聖アントニオ幼稚園 年少)



なつやすみに かぞくで おまつりに でかけました。みんなで  
かきごおりや みたらしだんごを たべて おいしかったです。  
おともたちにもあえて うれしかったです。らいねんも いきたいです。

▲もりもと ゆいさん (みどりヶ丘幼稚園 年中)

※図画作品の年齢は制作当時のものです。

### 「家庭の日」 図画作品募集!

「家族のふれあい」  
をテーマにした図画  
作品を募集します。  
みなさん、ふるって  
応募してください。

- ◆応募資格：名古屋市内の園児
- ◆規格・画材：画用紙は四つ切り(約40cm×約54cm)を使用してください。画材はクレヨン、フェルトペン、水彩絵の具など
- ◆応募方法：作品の裏面に氏名、年齢、学年、郵便番号、住所、電話番号、園名及び作品の簡単な説明(平仮名70字以上80字程度)を記入の上、問い合わせ先まで郵送または持参してください。募集要項の詳細は名古屋市HPに掲載しております。QRコードよりアクセスしてください。



- ◆応募締切：令和元年9月9日(月)必着
- ◆作品展示：入選作品は令和2年1月11日(土)にイーブルなごやで開催する「ファミリーデーなごや」の会場で展示します。入選者には賞状を贈呈します。また、入選作品の中から「幼稚園の子どもたち」掲載作品を選びます。
- ◆問い合わせ：名古屋市教育委員会生涯学習課社会教育係  
(〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号  
TEL:052-972-3253 FAX:052-972-4178)

## 親から子への大切なメッセージ

椋山女学園大学教授  
山口 雅史

幼稚園に通うようになってずいぶんたくましく成長した子どもたちですが、考えてみればほんの数年の人生経験しかありません。この世界のこと、そこで暮らす人々のこと、自分自身のことでさえも、まだまだわからないことだらけなのです。特に自我が芽ばえ始めた幼児期の子どもたちは、自分自身がどんな存在なのか気になってしかたありません。

「ぼくってどんな人間なんだろう？」

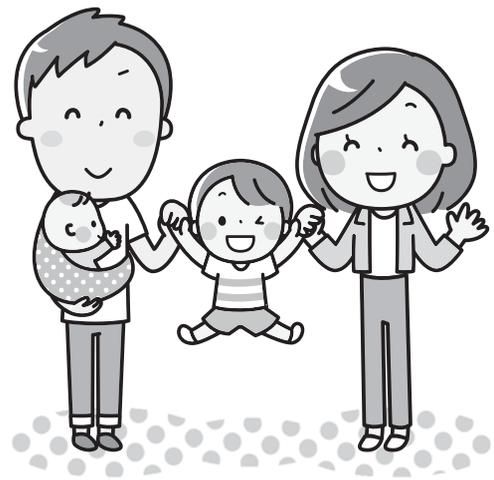
「わたしはみんなから愛され、受け入れてもらえるのかな？」

残念ながら、まだ幼い彼らには自分自身を客観的に見つめることなどとてもできません。でも、自分自身を知る方法が一つだけあります。それは、信頼できる大好きなおとなたちが自分のことをどう思っているのかを確認することです。子どもたちは、お母さんやお父さんが自分に対してどんな風に接してくれるのかを注意深く見きわめ、そこから自分の存在価値を見出そうとしています。その手がかりを与えてくれるのが、親と子の間で日々かわされるコミュニケーションなのです。

もしも、お母さんやお父さんがわたしをかけがえのない大切な存在として扱ってくれるのなら、きっとわたしはこの世界で生きていてもよい価値のある存在に違いない、子どもたちはそう納得することができます。でも、反対に、何もで

きないダメな子、悪い子として扱われ続けていけば、わたしは生きていく価値のない取るに足らない存在なのだと自分自身で決めつけてしまうことにもなるのです。

お母さんやお父さんの何気ない言葉や態度が、お子さんの自己評価に大きな影響を与えてしまうかもしれません。どうか日々のコミュニケーションの中で「あなたは何ものにもかえがたい大切な存在なんだ」というメッセージを分かりやすく伝えてあげてくださいね。



## こんなほん あんなほん

## 「親子で楽しく 取り組むことができる作品」

### 『どんどんばしわたれ』 (わらべうたえほん)

こばやしえみこ/案 ましませつこ/絵  
こくま社



♪どんどんばしわたれ さあわたれ♪の繰り返しとリズムが楽しい、わらべうた絵本です。様々な動物が橋を渡ります。絵本を楽しんだ後は、膝にお子さんをのせて遊んでみましょう。

### 『ピッツアぼうや』

ウリアム・スタイグ/作 木坂涼/訳  
らんか社



雨の日。退屈中のピートにお父さんがいました。「ピートでピッツアを作ったら楽しくなるかも」お父さんは息子を、まるで生地のようにこねたりひっぱったり…。ふれあい遊びに応用できる絵本です。

### 『ばばあちゃんの アイス・パーティ』

さとうわきこ/作  
福音館書店



暑い日には、製氷皿にお菓子やジュースなどの材料を入れて、冷たい氷のおやつを作ってみましょう。ハーブ入りは涼しげな飾りに。楽しく簡単に作ることができるので、親子の会話も弾むでしょう。

### 親子で一緒に楽しもう！

子どもの頃、身近な大人にどんな本を読んでもらいましたか？題名ははっきり覚えていなくても、読んでくれた人の肌の温もりや過ごした時間の楽しさは、心の奥底に残っているものです。自分に向き合ってくれる大人の愛情を、子どもはしっかり感じるからでしょう。子ども時代の幸せな思い出は、長い人生を生きていく中で、心の支えとなってくれます。絵本は親子のコミュニケーションに、大変役立つツールです。わらべうた絵本で一緒に歌ったり遊んだり、物語絵本で感動を共有したり、知識絵本で体験と結びつけたり。短時間でも構いません。忙しい日常生活の中に、親子で一緒に絵本を楽しむ時間が持てたらいいですね。

名古屋市鶴舞中央図書館  
児童担当 中村・新藤・野崎・前田

TEL:052-741-9811 FAX:052-733-6337

鶴舞中央図書館からの紹介です

## コミュニケーションで育てたいこと

名古屋市立高田幼稚園長  
河野 眞澄

園生活は、家族以外の人との生活の始まりです。先生や友達など様々な人との関わりを通して、自分の思いを伝えよう、人の話に耳を傾けようとする子どもを育てたいと思います。

入園当初の3歳児。緊張気味のA児が砂場のカップを手に取り、そっと砂を入れました。「あれ?いい匂いがしてきたわ」と声を掛けると、A児はカップを差し出しました。「ごちそうしてくれるの?ありがとう」とごちそうを食べ、「Aちゃん、美味しかったわ」と言うと、A児は今度は別のカップを「プリン」などと言いながら、ごちそうを次々に作ってくれました。A児はその後も「また作ってあげるね」と声を掛けてくれました。人と楽しい経験を共有することで心の距離が縮まります。また、4歳児のB児は、仲良しの友達とダンゴムシを探し、たくさん捕まえると「先生、見て見て」と虫かごを持ってきました。「うわぁ、小さいのも大きいのもいるね」「あのね、小さいのは子どもなんだよ」「Bちゃんはよく知っているね、ダンゴムシと仲良しだもんね」「そうだよ。だっていつも見てるもん」とうれしそうに答えました。このような“伝えたいくなるような心を動かす経験”がコミュニケーションを生

み出します。人と共有する楽しい経験、心を動かす経験、その積み重ねがとても大切だと思います。

5歳児になると、園外や地域の人とやり取りする機会が広がります。5月、地域の消防署へ見学に出かけました。消防士さんの話に興味津々に耳を傾け、その後「あれは何に使うんですか」「はしごはどの位伸びるんですか」など質問をしました。友達同士のやり取りとは違う丁寧な言葉遣いをしたり、答えてもらった後に「ありがとうございました」とお礼の言葉も出たりしました。伝える言葉は相手や状況などで変わること、機会を通して学んでいます。このようなコミュニケーションを通して、人とつながる喜びを感じてほしいと思います。



## 「私のお米が一番おいしい!」

梅森坂幼稚園 保護者  
太口 和香

我が家には3人の子がいる。小4長女、小2長男、3番目が年中おてんば次女だ。

午後3時、小学生組が次々帰宅する。先日、「宿題終わったから、公園へ行ってくる」と長男。「今日のお米研ぎ係はだれ?」と私。「あ、俺だ」と慣れた手つきで米を計り、研いで水加減をした後、鍋にセットして出掛けて行った。

そう、我が家には「お米研ぎ係」というお手伝いがあるのだ。

“お米研ぎ係”は、長男が春休みの宿題として始めた。これはちょうど良いと春休みが終わってからも長女と長男に交代で続けさせてみることにした。

そこに、「自分もやりたい!」と次女、少し早いかな…と思っただが、次女を金曜日のお米研ぎ係に任命した。

米びつのお米をカップにすれすれ3杯、やさしくやさしくお米を研いで、水をしっかりきってね、それからお水をカップ

に3杯ね。始めた頃はさんざんなものだった…。お米を床にばら撒き、お米を研ぐだけなのに全身びしょぬれ。何度も自分でやったほうが早いし楽だと思ったが、がまん、がまん…。次女がやると決めて、私もさせてみると決めたのだから、横から口を出さずに見守ろうと腹をくくった。

あれから2ヶ月、食べることにあまり興味のなかった次女が「私の研いだお米が一番おいしい!」とうれしそうにご飯をほおぼる。家族も「おいしいね!」と食べ、3合のお米はいつもあつという間になくなる。

母になって10年、子どもを信じて挑戦させること、見守ることの大切さを改めて実感している。子どもとべったり過ごすことができるのもあと数年、一緒にいろいろなことに挑戦し子どもとともに成長していきたい。

### 「家庭教育

### 相談事業」

### 開催のお知らせ

市立幼稚園において、お父さん・お母さんを対象に、専門家による子育て相談会を開催します。「悩みを打ち明けて心が軽くなった」「また参加したい」といった声が多く聞かれます。ぜひお出かけください。

開催日時、会場等は8月下旬以降、名古屋市公式ウェブサイトに掲載します。

家庭教育相談事業

検索

# 幼児教育講演会のお知らせ

〈親学関連講座 幼児教育講演会〉

## 『子は育ち、親も育つ ～楽しまなくっちゃもったいない～』

講師：育児マンガ家・エッセイスト 高野 優さん

育児マンガ家、エッセイスト、育児番組でもおなじみ、三姉妹の母である高野優さんがマンガを描きながら、幼児期からの子どもへの親の関わり方についてお話しします。

育児を楽しみながら、子どもとともに親として成長するヒントを学んでみませんか？

- 日時 9月25日(水) 午前10:30～12:00(午前10:00開場予定)
- 定員 350人(事前申込不要・当日先着順)
- 費用 無料
- 会場 イーブルなごやホール(中区大井町7番25号)  
地下鉄東別院駅1番出口より東へ徒歩3分
- 講師 育児マンガ家・エッセイスト 高野 優  
どなたでも参加できます。

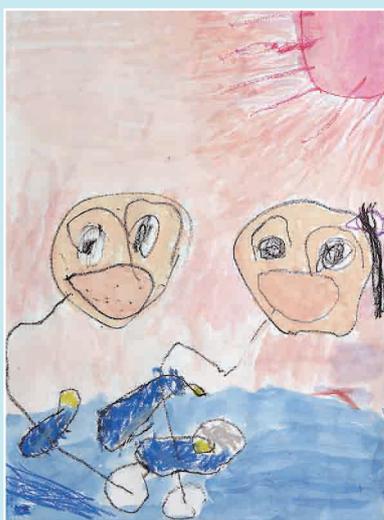
※小さなお子様を連れての受講も可能ですが、保護者向けのお話であることをご了承ください。



### 家庭の日 図画作品

よくはれたひのゆうがた、おとうさんと うみへ つりにいきました。さかなが つれるとき、つりさおが ぶるぶる ぶるぶる びびりました。さかなさん ありがとつて おもいながら おうちでたへたよ。

▲さわだ ちかさん(第一幼稚園 年少)



あついなつやすみ かぞくみんなて プールで あそんだよ。おばあちゃんも いっしょで およぐのを みせてあげたよ。プールだいすき。まいにちいきたいな。

▲くぼ ゆづきさん(建中寺幼稚園 年中)

※図画作品の年齢は制作当時のものです。

## 親子で一緒に楽しもう! 名古屋市の施設情報

### 施設の紹介

名古屋市内に200基以上もある古墳のうち、66基が守山区上志段味にあります。そのなかで7基が国の史跡に指定されています。そんな上志段味に「体感! しだみ古墳群ミュージアム」が平成31年4月1日にオープンしました。

### 施設の特徴等

志段味古墳群の歴史や古墳時代のモノづくりなど、体験しながら学べるミュージアムで、展示室、ミュージアムショップ、こどもこふんのほか、カフェも併設しています。また、勾玉づくりなどが日替わりで体験できる古代体験プログラムもあります。

(開催日・参加費はプログラムにより異なります。詳しくは施設HPをご覧ください。)



こどもこふん

夏の催し	リアル謎解きゲーム 7/13(土)～9/29(日)【要参加費】
	夏の企画展示「古代の船」 7/2(火)～9/16(月・祝)【展示室内】



施設概要	所在地	名古屋守山区大字上志段味字前山1367
	開館時間	9:00～17:00(展示室への最終入室16:30)
	休館日	月曜(祝休日の場合は翌平日)、12月29日～1月3日
	入館料	無料(展示室のみ200円,中学生以下無料)
	問い合わせ先	TEL 052-739-0520
	ホームページ	<a href="https://www.rekishinosato.city.nagoya.jp/">https://www.rekishinosato.city.nagoya.jp/</a>

「歴史の里」マスコットキャラクター



増輪氏武 しだみこちゃん

## 編集後記

保護者の皆様や編集委員の皆様の協力を得て今年度の「幼稚園の子どもたち」NO.1を発行することができました。ご協力ありがとうございました。

今号は、「大切な親子のコミュニケーション」をテーマに取り組みました。

今の子は、少子化で兄弟姉妹が少なかったり、核家族でふれあう家族が少なかったりするため、コミュニケーションが苦手で、友達とトラブルになるのではないかと心配されている保護者の方もいらっしゃいます。

本紙で紹介された事例等が、親子のコミュニケーションの取り方の参考になれば幸いです。そして、家庭・幼稚園・地域での人との関わりを通して、相手の気持ちや思いを感じ取ったり、大切にしたりするなど、人との関わりを学んでいってくれることを願っています。

さて、厳しい暑さが続く季節となります。熱中症等の体調管理、水の事故防止に心掛け、楽しい夏休みを過ごしていただきたいと思います。

\*ご意見ご感想をお待ちしています。係までお寄せください。

●担当／生涯学習課社会教育係  
電子メールアドレス  
a3253@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。